

# 令和2年度 第3回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2021.3.11(木)

## <目次>

- (1) 医療・介護の多職種連携情報共有システム導入報告**
- (2) 在宅医療後方支援制度の実績報告**
- (3) 救急医療情報キットの普及に向けた取り組み報告**
- (4) 在宅医療介護連携推進事業を活用した感染症対策の  
取り組み報告**
- (5) 在宅医療介護連携推進事業を活用した災害時対策の  
検討**

# 1. 医療・介護の多職種連携 情報共有システム導入報告

# ① 医療・介護の多職種連携情報共有システム導入報告

令和2年12月議会 補正予算可決  
「新型コロナウイルス感染症対策に係る市民等支援に要する経費」

令和2年12月中 業者選定、決定

令和3年1月14日 第1回ICT検討委員会  
試行運用を開始

令和3年2月18日 第2回ICT検討委員会  
(利用規約、運用ルールの検討)

令和3年3月1日 本稼働を開始

# 今後の取組み

- **医療・介護の関係職種への周知、普及啓発**  
様々な形式（個別・集団）で周知を図っていく。
- **白井市におけるシステム運用のルールづくり**  
ICT検討委員会を定期的を開催し、ルール策定に向けて検討する。
- **「白井市在宅医療後方支援制度」の手続き電子化**
- **情報共有システムの基本機能を活用した取り組み検討**  
「同職種の子屋」「専門分野（歯科・皮膚科）の相談ができる子屋」「多職種の交流・テーマ別意見交換の子屋」など、システムを活用した取り組みを生子出す。

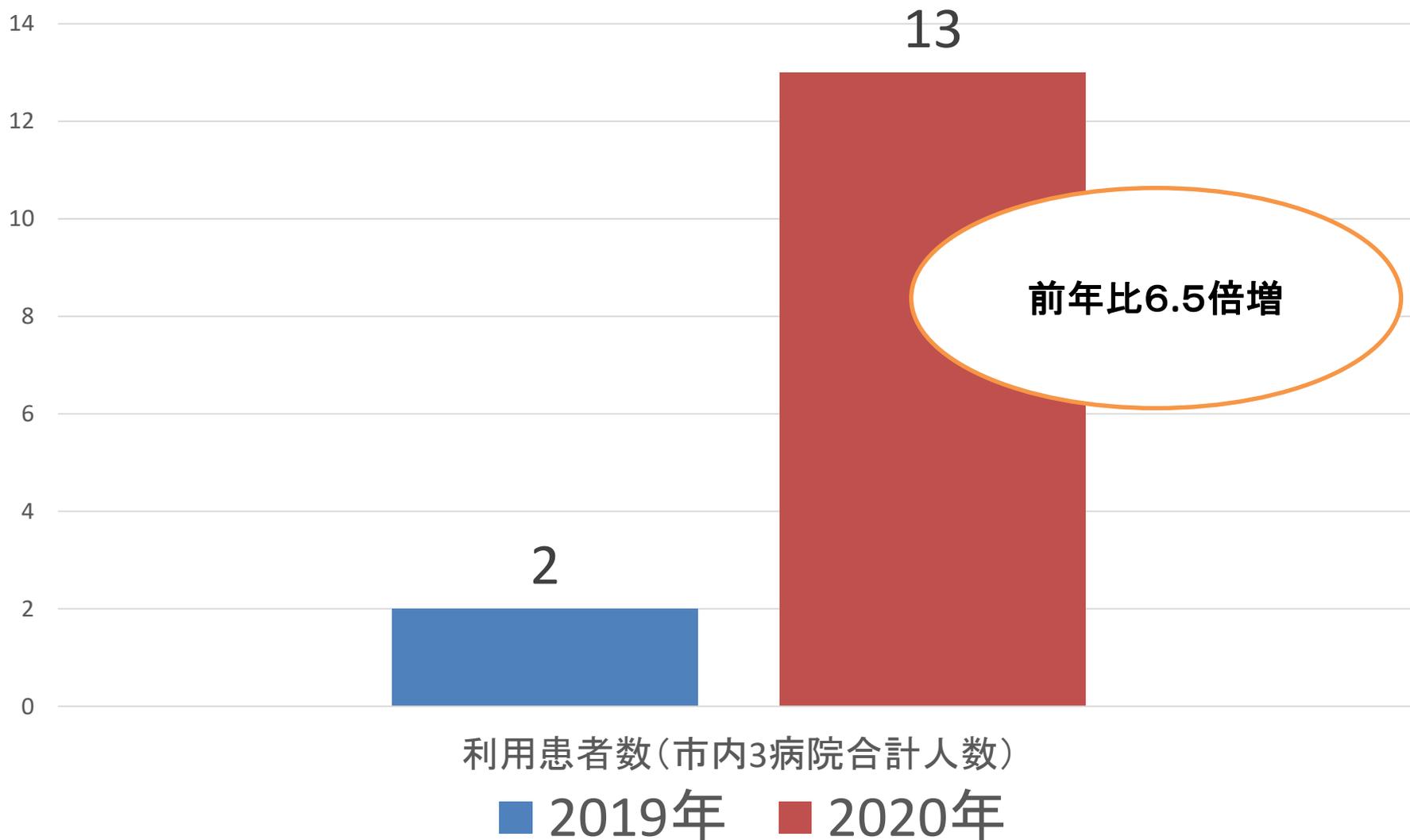
## **2. 在宅医療後方支援制度の 実績報告**

# 在宅医療後方支援制度 登録者および利用者数

(2020年1月～12月末)

	白井聖仁会 病院	北総白井 病院	千葉白井 病院
登録 患者数	27	30	31
利用 患者数	3	3	7

# 在宅医療後方支援制度利用患者数の推移



※制度運用開始は2019年4月1日

# 市内3病院対象のアンケート調査結果

設問「制度の運用にあたり、課題に感じていること」 回答は自由記載

- 登録患者の受け入れについて
  - ・夜間・休日において、発熱患者を受け入れる為の検査体制（PCR・抗原検査）が整っていないことにより、受け入れが難しい状況となっている。
  - ・満床時に登録患者であることの確認が取れない場合、受け入れが心配である。
- DNARについて
  - ・かかりつけ医からの情報と家族の真意にギャップがあっては困るため、綿密なチェック及び状況の変化に応じた明確な同意が必要。
- 退院調整
  - ・入院長期化による病床確保困難ケースに対する連携

# **3. 救急医療情報キットの普及に 向けた取組み報告**

# 救急医療情報キット普及のこれまでの取り組み

- **医療・薬局等でのポスター掲示**

- **市広報紙・ホームページへの掲載**

救急医療情報キットの紹介動画再生回数 12,000回以上！

- **民生委員への説明**

- **ケアマネジャーへの協力依頼**

- **救急搬送現場でのリーフレット配布**

# 令和2年度 救急医療情報キット配布実績

キット配布数 (2020.4月～2021.2月末)	累計 (2017.12～)
693	3,099

## 令和2年度 救急活動現場におけるキット活用実績

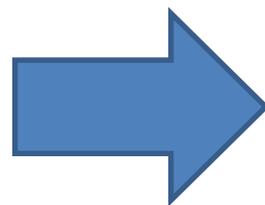
※令和2年度市内65歳以上の救急出動件数 1,106件 (2021.1月末)

自宅用シート	202件
介護施設用シート	87件

更なる普及を目指して・・・

## ● 救急搬送現場でのリーフレット配布

これまで  
白井・西白井消防署



今年2月から  
印西地区消防本部  
管轄7署全てに拡大

印西地区消防本部・印西市・白井市の担当者協議を実施

第1回目：令和2年10月30日

第2回目：令和3年1月28日

**印西市・白井市共通の新しいリーフレット作成  
2月上旬から配布を開始！**

資料1

# **4. 在宅医療介護連携推進事業を 活用した感染症対策の取組み報告**

令和3年1月19日  
から始めました

資料2

## 介護従事者等向け感染防護対策相談事業

目的: 感染症予防対策の知識の習得、  
感染症に対する不安や悩みの軽減を図る

対象: 訪問介護事業所、居宅介護支援事業所  
障害居宅介護支援事業所、相談支援事業所

内容: 北総白井病院に勤務する感染管理認定看護師が、  
メール・電話による相談対応を行う

# **5. 在宅医療介護連携推進事業を 活用した災害時対策の検討**

## 在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



〈参考〉第8期介護保険事業計画 国の基本指針より抜粋

● **災害・感染症対策**に係る体制整備

近年の災害の発生状況や、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、都道府県及び市町村においては、次の取組を行うことが重要である。

- 1 介護事業所等と連携し**防災**や感染症対策についての**周知啓発**、**研修**、**訓練**を実施すること
- 2 関係部局と連携して、介護事業所等における**災害**や感染症の発生時に**必要な物資についての備蓄**・調達・輸送体制をあらかじめ整備すること
- 3 都道府県、市町村、関係団体が連携した**災害・感染症発生時の支援・応援体制**を構築すること

なお、平時から**ICT**を活用した会議の実施等による業務のオンライン化を推進することは、災害・感染症対策としても重要である。

<参考> 第8期介護保険事業計画 国の基本指針より抜粋

● **災害・感染症対策**に係る体制整備  
 近年の災害の発生状況や、新型コロナウイルス感染症の発生  
 都道府県及び市町村においては、次の取組を

在宅医療・介護連携推進  
 事業の枠組みを活かして、  
 検討できないか

1 介護事業所等と連携し**防災**や感染症対策についての**周知啓発**、  
**研修**、**訓練**を実施すること

2 関係部局と連携して、介護事業所等において必要な物資についての**備蓄**・**調達**・**輸送体**  
 すること

導入したICTシステムを  
 活用した災害時対策の検討

3 都道府県、市町村、関係団体が連携した**災害・感染症発生時の**  
**支援・応援体制**を構築すること

なお、平時から**ICT**を活用した会議の実施等による業務の**オンライン**  
**化**を推進することは、災害・感染症対策としても重要である。

在宅医療・介護連携推進事業を活用し、関係者の連携体制や対応を検討していくこと

## 1. 介護事業所等と連携し防災や感染症対策についての周知啓発、研修、訓練を実施すること

### 現状

- 介護事業所等と連携した防災についての周知啓発、研修、訓練について、これまでは実施していません。各事業所での取り組みについても、把握できていません。
- 医療ニーズや介護度の高い在宅療養者については、医療機器の停電対策や避難時の移送方法および身近な支援者の確保について、平常時に在宅療養者と話し合い、避難行動要支援者個別支援計画を作成しておくことが必要ですが、策定が進んでいないのが現状です。
- 平常時から介護・医療サービスの利用を通じて高齢者や障害者等とつながりのある介護・医療関係者の協力を得ながら、確実な避難を実現するための対策に取り組む必要がありますが、具体的な検討はこれからです。

### 3. 都道府県、市町村、関係団体が連携した災害・感染症発生時の支援・応援体制を構築すること

#### 現状

- 令和元年秋の台風発生時、人工呼吸器を使用する在宅療養者から停電による電源喪失時に備えた対応についての問い合わせがありました。
  - 人工呼吸器等を使用する災害リスクの高い要支援者の**情報が一元化されていない**ことが課題となりました。
  - 令和元年11月に「要安否確認者の安否確認体制検討会議」を開催。その後も対策の検討を行うため、令和2年8月までの間に計5回実施。  
出席者：庁内関係課（危機管理・社会福祉・障害福祉・健康・高齢者福祉課）、  
印西地区消防本部警防課、印旛保健所、訪問看護ステーション
- <成果>
- ① 災害時の**被災者調査・確認（安否情報収集）実施マニュアル作成**  
ケアマネジャー等に協力依頼し、安否確認訓練を検討中。ICT活用？
  - ② 災害時安否確認名簿（高齢者・障がい者）の見直し
  - ③ **人工呼吸器等使用者名簿の作成**
  - ④ 在宅人工呼吸器等使用者のための「災害準備ノート」（保健所作成）導入

## 意見交換

当日、下記2点について委員の皆様から  
ご意見伺いたいと思います。

医療ニーズや介護度の高い在宅療養者の防災対策として、  
介護・医療関係者や地域住民が取り組めること

介護事業所等と連携した防災についての周知啓発や  
研修・訓練について、期待したい内容